

—ロボットが人の「生活」となる—

『HubROBO (ハブロボ)』

人と共存するロボット
について考え、
一緒に創るアカデミー



参加費
無料

遠隔・非接触・非対面サービスとしてロボットがますます注目を集める中、ロボットカフェや福祉・医療の現場で活躍するような、人の生活に近い場面などで自然に共存ができるロボットも必要とされています。

そこで今回は、人と共存するロボットの最新研究事例をATR宮下敬宏インタラクション科学研究所所長から紹介していただきます。更に京都にゆかりのある企業の開発事例を紹介しながら、人の「生活」となるロボットの可能性について検証します。本勉強会・交流会を通してロボットの開発と新たな連携を生み出すことを目指します。

■日時 第1部 2022年2月14日(月) 14:00~15:00 オンライン 30名
第2部 2022年3月25日予定 オンラインとリアル開催を予定

■参加者 ロボットの研究・開発に取り組む企業、研究機関等

1 第1部 勉強会

・ロボットのインタラクション先端研究の紹介

講師：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
インタラクション科学研究所 所長 宮下敬宏 氏



2 第2部 交流会

・京都ロボットの開発事例による検証
【医療現場での挑戦】

AIロボットによる新しい認知機能トレーニング法
(株)ハタプロ 代表取締役 伊澤 諒太



講師
宮下 敬宏 氏

株式会社国際電気通信基礎技術研究所
(ATR) インタラクション科学研究所所長
人とロボットのインタラクションに関する
研究開発と新技術の社会実装に従事。
ロボット・IoTなどの技術をベースにし
た新規事業創出を企業やベンチャーと
ともに年間約40件手掛けている。

【実務現場での挑戦】 ※登壇者調整中 一部変更の可能性あり

- ・誰でも使用できる自律移動ロボット「Keigan ALI」 (株) Keigan
- ・中小企業の熟練技術者を模倣するAIソフト (株) Anamorphosis Networks
- ・異なるロボットでも一括で制御できるプラットフォーム (株) T-ROBO

お申込み方法

URL・QRコードからお申込みください

<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=40864>

第1部の申込締切: 2022年2月10日(木)

※第2部は調整中



一次世代ロボット等の開発・実証のため、中小企業・ベンチャー・研究機関等が共同利用できる拠点

屋内大空間に研究開発用ロボットや測位機器等を備え、ロボットの自律システム、人とロボット、ロボットどうしの協調システムをはじめ、暮らしや生産性の向上に資する様々な次世代ロボット技術の開発、導入を支援します。〈けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) 1F〉

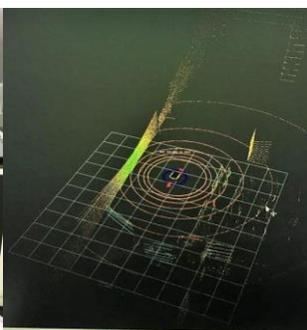
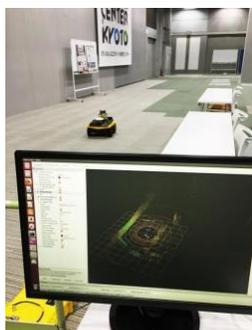
床面積1,500平方メートル、天井高5mの大空間、5G基地局整備
一貸出・持込ロボット等を走飛行させながら、その場で開発・実証可！

高精度モーションキャプチャ、ヘッドマウントディスプレイ等を装備
一開発中のロボットの測位・動作検証、CG・VR等の製作等に！



研究開発用ROS対応走行ロボット、ドローン等を装備 一自律ロボットシステム、人とロボットの協調システム等の開発・実証等に！

活用事例



自律移動ロボット開発

モーションキャプチャーによる測位



ロボコン出場に向けた練習

ドローンレースやゲームジャムの開催



各種勉強会の開催

詳細はホームページをご覧ください

<http://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/robotcenterkyoto.html>

